

業務自動化など10事例

佐藤渡辺が改善発表会

佐藤渡辺は21日、東京都港区の本社で「第35回業務改善発表会」を開いた。業務の自動化や残業時間短縮などをテーマに10事例を発表した。写真。

冒頭、池田政人代表取締役



役兼専務執行役員工事本部長は「発表会を通じて業務効率化などのメリットを獲得し、企業が保有する資産を有効利用しよう。無理・むら・無駄の三つの課題を解決していくことが、会社をさらなる成長に導く」とあいさつした。

2023年度は支店などから営業のDX化や時間外労働改善、合材工場マネジメントなどを報告した。石井直孝社長は「若い社員が生成AIなどを業務に取り込んでいることに感心した。発表会で改善した内容は全社に水平展開し、業務改善につなげてほしい」と講評した。

社長賞と優良賞のテーマは次の通り。

【社長賞】リ・タンスイシステムの技術営業DX

(西日本支店)
【優良賞】営業部のDX
メソッド(営業本部)▽P
yth onによる業務の自
動化(関東支店)▽首都高
速道路工事の成功(関東支
店)。

